



# ふた復通信

～ふたばの日常～

チャレンジする  
双葉郡の農業特集

令和2年  
春号



# 広野町

ハウス内でバナナの手入れを行う田村館長

双葉郡の最も南に位置する広野町は、山と海に囲まれた美しい町であり、その穏やかな気候から「東北に春を告げる町」とも呼ばれる。そんな広野町で、いま一風変わった取組が注目を集めている。それは、バナナの栽培だ。

「本来、南国以外では栽培が困難であるバナナの栽培を行うことで広野町に注目してもらい、ひいては双葉郡全体を盛り上げていきたい。」広野町振興公社の中津社長は熱意を込めてそう語った。園内には205本のバナナが植栽され、今後その数を増やしていく予定だという。

魅力は物珍しさだけではない。広野町のバナナはグロスミツチェルという品種で、強い香りと滑らかな果肉が特徴だ。しかも農薬を使用せずに、皮まで食べられるほ

## 春を告げる町の『綺麗』なバナナ

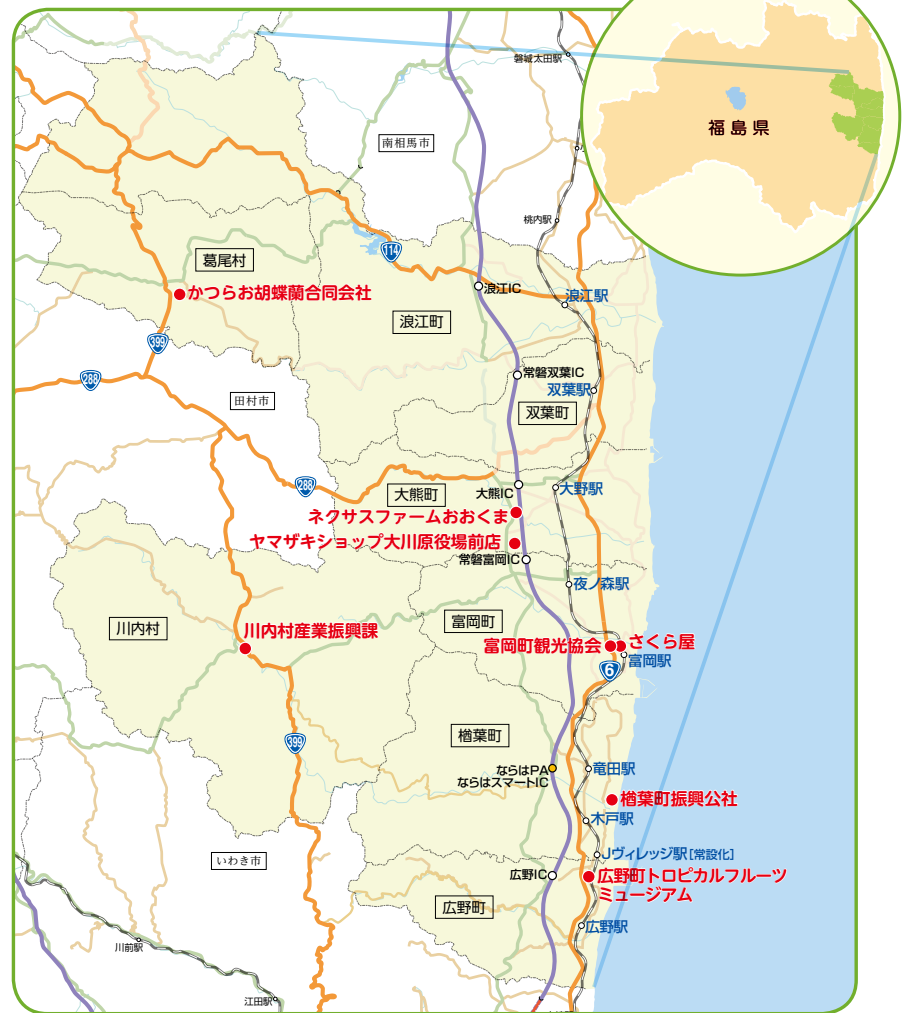


どの徹底した管理の下で栽培されている。そんなバナナに付けられた愛称が『綺麗』だ。綺麗は現在、土日限定でニッソ総合公園内トロピカルフルーツミュージアムにて直売されている。今春から常設化されるJヴィレッジ駅を利用して、春を告げる町の綺麗なバナナをぜひ味わってみてほしい。

お問い合わせ・購入先  
**(株) 広野町振興公社**  
 広野町トロピカルフルーツミュージアム

双葉郡広野町大字下北迫字  
 大谷地原65-13  
 JR常磐線Jヴィレッジ駅より  
 徒歩10分  
 電話…0240-2317704

## 双葉郡 MAP



- 【目次】
- 1 P…広野町  
「バナナ」
  - 2 P…檜葉町  
「檜葉う米・檜葉の風」
  - 3 P…富岡町  
「焼きドーナツ  
(たまねぎ味)・  
富岡ライスバウム」
  - 4 P…川内村  
「醸造用ぶどう」
  - 5 P…大熊町  
「いちご」
  - 6 P…双葉町  
「農地管理」
  - 7 P…浪江町  
「エゴマ」
  - 8 P…葛尾村  
「胡蝶蘭」
  - 9 P…お問い合わせ先、  
購入情報一覧



# 檜葉町

檜葉の米はやっぱり『う米』！



ゆず太郎

いま、檜葉町で米が熱い。

東日本大震災から5年後の平成28年から米の出荷を再開した檜葉町では、年々着実に水稲の作付面積を増やし、昨年は収穫した米を美味しいまま低温管理できるカントリーエレベーターも稼働を開始した。

そんな檜葉町で昨年から発売を開始したのが、オリジナルブランド米『檜葉う米』だ。町産米の中からコシヒカリと福島県オリジナル品種「天のつぶ」の一等米だけを厳選しており、冷めても美味しいもちもちとした食感が売りだという。檜葉う米は、道の駅ならはや、天神岬サイクリングターミナルなどで購入することができる。

また、檜葉町産の酒米を使用した日本酒『檜葉の風』も平成30年の発売以来大人気で、4月下旬に

は令和元年度産米による新酒の発売開始を予定しているとのこと。

檜葉町のう米をお米をぜひご賞味あれ！

お問い合わせ・購入先

(一財)檜葉町振興公社

双葉郡檜葉町大字

北田上ノ原27-29

電話：0240-2513113



檜葉町産酒米を使用した日本酒「檜葉の風」

# 富岡町

お問い合わせ・購入先

さくら屋(焼きドーナツ)

双葉郡富岡町大字小浜字中央

(さくらモールとみおか内)

電話：0240-2316606



# 富岡の新作スイーツをどうぞ

桜の名所「夜の森の桜並木」で高い富岡町。この町に新たな名物が誕生した。それは町産の農作物を使ったスイーツだ。

富岡町の避難指示解除に合わせて営業を開始した「さくらモールとみおか」には、複数の飲食店が軒を連ねている。その中でも人気のカレー店「さくら屋」の店頭には、なぜか大量のドーナツが並べられている。このドーナツこそが富岡町の新名物「さくら屋の焼きドーナツ」だ。生地はふんわりしながらも食べ応えがあり、なおかつ油で揚げていないためヘルシーなのが嬉しい逸品だ。日持ちもするのでお土産にも最適である。味の種類は季節限定のものまで合わせると、なんと23種類もあり、メープル味やチーズ味といった定番から、おいも味や抹茶味など様々な味を楽しむことができる。その中でも特におすすめなのが、富岡町産の

たまねぎのパウダーを練り込んだ「たまねぎ味」だ。ドーナツの優しい甘さと、鼻から抜ける微かなたまねぎの香りは、次世代のオニオリングと呼ぶべき新感覚だ。

また、富岡町では地元観光協会が販売している米粉を使用したパウムクーヘン『富岡ライスバウム』も話題を呼んでいる。富岡町産米を使用し、米粉特有のもっちりとした食感が楽しめる。こちらは富岡町内で開催される「さくら祭り」や「えびす講市」などのイベント会場のみの限定販売となっている。富岡町のイベントにお越しただき、ぜひ会場でもちもちの米粉スイーツを探してみたい。



とみっぴー



お問い合わせ・購入先

富岡町観光協会

(富岡ライスバウム)

双葉郡富岡町中央2丁目111

電話：0240-2213307



# 川内村

## 村の新たなチャレンジは 一万本のぶどう畑



阿武隈山系の澄んだ空気の中、一面に広がる3haの畑に整然と並んだぶどうの木はなんと一万本。「高田島ワインヤード」と名付けられたこの広大なぶどう畑は、川内村の新たなシンボルになりそうだ。

川内村では、震災からの復興に取り組む中、新たな農業への挑戦として平成28年度から「醸造用ぶどう栽培の取組が始まり、平成29年度に「かわうちワイン株式会社」を立ち上げ、地元産ぶどうを使用したワインの生産を目指している。

自然豊かで水の綺麗な川内村は、美味しい蕎麦やイワナで有名であるが、花こう岩主体の水はけの良い土壌と、昼夜の大きな寒暖差は、ぶどう栽培にも適した環境だった。醸造用ぶどうに先駆けて生食用のハウスぶどうも生産されており、消費者からの評判も上々だ。

ワイン生産の第一歩として、委託醸造による商品化を検討しているが、将来的には村にワイナリーを整備する計画もあり、ワイナリーが完成すれば多くの家族連れで賑わう観光施設としても期待されている。

川内村産ぶどうのワインが飲めるのは、まだ少し先だが、阿武隈高原に広がる一万本のぶどう畑は、眺めているだけでも爽快な気分させてくれる絶景だ。

川内村には、美味しいイワナが味わえる「いわなの郷」や、日帰り温泉が楽しめる「かわうちの湯」など、魅力ある施設が多くある。村にお越しの際は、ぜひ高田島のぶどう畑にも足を運んでみてほしい。

# 大熊町



## 一年を通じて実る

### 最先端農業の粋



大熊町の大川原地区にずらりと並んだ巨大な農業用ハウス。まさに「植物工場」と呼ぶべきこの近代的な大規模農場で作られているのは、「フルーツ香るロマンの里」復活への想いが込められたいちごである。

大熊町でいちごの栽培を開始したのは、平成31年4月に町や農業関連団体が主体となり設立された「ネクサスファームおおくま」である。太陽光利用型植物工場での養液栽培により、いちごの周年栽培を行っている。いちごの旬は一般的に冬から春先にかけてだが、ネクサスファームでは、「とちおとめ」などの通常の冬春いちごに加え、「すずあかね」や「よつぼし」など夏や秋に収穫できる品種も栽培しており、消費者に一年を通じて美味しい莓を届けている。さらに、GAPに基づき徹底した生産工程管理と放射性物質の全量検査によ

り、安全性も万全だ。

また、植物工場では、温度・湿度・日照などが最先端の環境制御システムで管理され、農作業もかなりの部分が機械化されている。これにより品質を保ちながら労働負担を軽減できるのでこれからの大熊町の復興を支える新たな産業として期待が高まっている。

現在、ネクサスファームのいちごは業務用の販売が中心だが、毎週月・水・金曜日には、大熊町役場前のヤマザキシヨップで一般に購入することができる。

大熊町の新たな特産、甘く香る最先端のいちごをぜひご堪能あれ。

#### 購入先情報

#### ヤマザキシヨップ

#### 大川原役場前店

双葉郡大熊町大字大川原字南平1727-2



# 双葉町

町に響く  
再生への鼓動



令和2年3月4日、原発事故による全域への避難指示が唯一継続していた双葉町において、遂に一部地域の避難指示が解除され、復興に向けて新たなステージを迎える。

東日本大震災と原発事故から10年目。令和4年春頃の帰還開始を目指し、新たな産業団地や、公営住宅の整備等の計画も進められている。この中で、故郷の農業再生を願い、黙々と汗を流してきた人たちがいる。

双葉町の認定農業者が中心となり、平成30年5月に双葉町農地保全管理組合を発足。沿岸部に位置する両竹（もろたけ）地区で、除去された農地が再び荒れないように、除草剤の散布や草刈りなどの保全管理に尽力し、令和元年9月からは、同地区で野菜の試験栽培をスタートさせた。そんな矢先、台風19号に

より、作付けした野菜が被害を受け、取組みの中断を余儀なくされた。

震災に台風。度重なる災害に見舞われても、双葉町は歩みを止めない。両竹地区の農地を保全しながら、令和2年度に改めて試験栽培に取り組むほか、特定復興再生拠点区域の一部農地でも新たなメンバ―により保全管理が始まるなど、農業再生と原風景の回復を目指し一歩一歩前に進んでいる。

困難に次ぐ困難を乗り越え、空中に響くトラクターのエンジン音は、双葉町の力強い鼓動そのものなのだ。

お問い合わせ先  
双葉町産業課

いわき市東田町2丁目19-4  
電話（代表）  
0246-84-5200

# 浪江町



ふるさとでエゴマと

共に歩む



震災前、浪江町津島地区で酪農を営んでいた石井隆広さん・絹江さんご夫妻は、平成27年に避難先の福島市で石井農園をスタートさせた。避難先での暮らしに張り合いが出てきた一方で、故郷である浪江町への想いも強まっていた。そこで石井農園のスタートと同じ年に、夫妻は避難指示解除を翌年に控えた浪江町でも営農を再開した。それ以来、今日まで2日に一度は避難先の福島市から約2時間かけて浪江町の畑に通っている。

石井さんご夫妻がいま最も力を入れている作物はエゴマだ。エゴマは食べると10年長生きするという言い伝えから、地元では「じゅうねん」とも呼ばれるシソ科の植物の種子で、「オメガ3脂肪酸（α-リノレン酸）」が豊富に含まれており、善玉コレステロールの増加や認知症予防にも良いとされ、その健康効

果が大いに注目されている。石井農園では、栽培に農薬を使わないだけでなく、エゴマが本来持つ健康成分を壊さないよう、可能な限り熱を加えない製法により、油やドレッシング、ジャムなどに加工している。

「エゴマの製品を作っているのは商売のためだけじゃないの。」苦勞して作った自慢の商品を前に、絹江さんは穏やかな笑顔を浮かべる。「震災でダメージを受けた浪江町でも、こうして良い物が作れるんだと多くの人に知ってほしい。そして出来れば、浪江町で一緒に農業をしてほしい。」それが今の石井さんご夫妻の夢だ。

購入先情報  
石井農園

福島市飯坂町平野字中野12  
電話・FAX  
024-59718890





## ご紹介した特産品等に関する 購入先・お問い合わせ先一覧

### ● 広野町 バナナ

【問】 広野町トロピカルフルーツミュージアム  
双葉郡広野町大字下北迫字大谷地原 65-3  
(ニッ沼総合公園内)  
電話：0240-23-7704



広野町  
ひろぼー

### ● 檜葉町 檜葉う米・檜葉の風

【問】 (一財) 檜葉町振興公社  
双葉郡檜葉町大字北田上ノ原  
27-29  
電話：0240-25-3113



檜葉町  
ゆず太郎

### ● 富岡町 焼きドーナツ(たまねぎ味)・ ライスバウム

【購入先】 さくら屋(焼きドーナツ)  
双葉郡富岡町大字小浜中央  
(さくらモールとみおか内)  
電話：0240-23-6606

【購入先】 富岡町観光協会(富岡ライスバウム)  
双葉郡富岡町中央 2丁目 111  
電話：0240-22-3307



富岡町  
とみっぴー

### ● 川内村 醸造用ぶどう

【問】 川内村産業振興課  
双葉郡川内村大字上川内字  
早渡 11-24  
電話(代表)：0240-38-2111



川内村  
モリタロウ

### ● 大熊町 いちご

【問】 (株) ネクススファームおおくま(生産者)  
双葉郡大熊町大字大川原字西平 2127  
電話(代表)：0240-23-7671

【購入先】 ヤマザキショップ大川原役場前店  
(月・水・金曜のみ数量限定販売)  
双葉郡大熊町大字  
大川原字南平 1727-2

大熊町  
まあちゃん



### ● 双葉町 農地管理

【問】 双葉町産業課  
いわき市東田町 2丁目 19-4  
電話(代表)：0246-84-5200

双葉町  
フタバくん



### ● 浪江町 エゴマ

【購入先】 石井農園  
福島市飯坂町平野字中野 12  
電話・FAX：024-597-8890

浪江町  
うげどん



### ● 葛尾村 胡蝶蘭

【購入先】 かつらお胡蝶蘭合同会社  
(かつらお胡蝶蘭受付センター)  
双葉郡葛尾村大字落合字菅ノ又 148-2  
電話・FAX：0120-540-257

葛尾村  
しみちゃん



## 葛尾村

再出発する村を彩る  
『希望の白』



しみちゃん

双葉郡に新しくオープンしたお店に胡蝶蘭が飾られていると、それを目にしたお客さんは口々にこう呟く。「これ葛尾村のやつかな」と。「風評の影響が少ない農作物は何だろうと考えた末に辿り着いた答えが胡蝶蘭でした。」かつらお胡蝶蘭合同会社の杉下博澄さんは、眩いばかりの白い胡蝶蘭が咲く暖かなハウスの中を忙しく動き回る。300坪のハウス2棟で、月に約4,000株の胡蝶蘭を出荷しているという。「葛尾村に新しい産業を根付かせたいという想いで始めました。村は標高が高く、冬季の温度管理に苦労することもありますが、夏季は高温障害を避けつつ十分な日照を確保しやすいのが強みです。」そのため、葛尾村の胡蝶蘭は他産地のものに比べて大輪で肉厚なのが特徴だ。こうして大事に育

てられた胡蝶蘭は、村の再生への願いを込めて『ホープホワイト(希望の白)』と名付けられた。葛尾村の胡蝶蘭は主に関東の他、福島県内、仙台、盛岡などの東北地区へも出荷されている。また、合同会社のHPで注文することも可能だ。今後は品質の向上と安定化が課題で、出荷する胡蝶蘭の9割を花数14輪以上にすることを目標としているという。丹精込めて育てられた希望の白い花を、その目でご覧いただきたい。

購入先情報  
かつらお胡蝶蘭合同会社  
(かつらお胡蝶蘭受付センター)  
双葉郡葛尾村大字落合字  
菅ノ又 148-2  
電話：0120-540-257



あなたとつながる、ふたば。

福島県双葉郡8町村

2020年3月  
JR常磐線  
全線再開

2020年3月、JR常磐線がはいはい全線再開します。  
東京から、仙台から、あなたのまちから、  
「双葉郡のいま」を感じる旅に出ませんか？

常設化 再開

東京方面 仙台方面

ひらの  
「ウイレッジ」  
きと  
たつた  
とみおか  
よのもり  
おおの  
ふたば  
なみえ

一般財団法人 福島県電源地域振興財団

(一財) 福島県電源地域振興財団ふたば復興支所

【福島県ふたば復興事務所】

電話：0240-23-6974 FAX：0240-25-8372

HP：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11110a/>